

前橋工科大学大学案内冊子作成業務委託事業者審査
評価項目及び評価基準

本評価基準は、前橋工科大学大学案内冊子作成業務委託に係るプロポーザルにおいて、委託候補者を特定するための評価基準である。

本評価は、仕様書に記載された要件への適合性を重視する。提案書には、各評価項目に関連する仕様書条項を明記した上で、その解釈、実施計画及び具体的な実施方法（体制・システム等）について記載すること。仕様書要件を的確に理解し、実現性及び再現性の高い実施体制を示した提案を高く評価する。

評価項目及び評価基準	
1 事業者に関する項目（20点）	配点
会社の規模及び本業務と類似する業務の実績等から、提案内容を円滑に遂行可能か	10点
提案内容を実施できる人員及び体制が確保されているか	10点
2 企画提案書、ヒアリング等に関する項目（150点）	配点
1. 業務遂行体制及びマネジメント	
プロジェクトマネージャーの意思決定構造	
仕様書に定める台割・スケジュール等の承認プロセスにおいて、プロジェクトマネージャーが現場制作に対し即時かつ最終的な制作工程における判断権限を有し、その構造が機能的であるか。	15点
瑕疵担保責任とリスク制御	
仕様書の各要件を網羅し、発生しうるリスクを早期に把握・対応することで、業務品質を継続的に確保できる体制であるか。	20点
工程管理の実現性	
仕様書に準拠し、各工程の進捗が客観的指標によって管理され、全体の納期を左右する重要な工程の流れ（クリティカルパス）を含めた納期遵守の実現性が高い計画であるか。	20点
2. コミュニケーション及び品質管理	
情報の透明性と共有	
仕様書に定める指示及び検討過程の情報が、全構成員へ欠落なく共有される経路と、その記録を保持する透明性の高い運用体制であるか。	15点
品質合致の検証プロセス	
仕様書に基づき、成果物が要件を満たしているかを発注者・受注者が同時かつ客観的に判定できる、チェックシート等を用いた具体的な検証体制が構築されているか。	15点
専門人材の連携と機能的協働	
業務目的の共有、情報共有、意思決定及び品質管理等の仕組みが実装され、デザイナー、カメラマン、編集担当等の専門人材が本来業	15点

<p>務に集中しながら、発注者を含め円滑に連携できる体制が、業務目的の共有方法、情報共有方法、意思決定フロー、品質管理体制等として具体的かつ再現可能な形で示されているか。</p> <p>また、各部門及び発注者との連携不足に起因する手戻りや校正破綻等の事故を防止するための仕組みが、プロセスとして明確に組み込まれているか。</p>	
<p>3. 企画提案及びデザイン</p>	
<p>制作目的の理解度</p>	
<p>仕様書に照らし、大学広報の役割及びUD配慮の意義を正確に理解し、制作目的を達成する体制であるか。</p>	20点
<p>デザインの論理的妥当性</p>	
<p>仕様書に定める技術仕様に基づき、視認性・アクセシビリティ・情報設計がどのような論理的根拠に基づいて最適化されているか。</p>	20点
<p>独自性と付加価値</p>	
<p>仕様書の要件を踏まえ、本学のブランドイメージを向上させるための提案と、仕様の意図を汲み取った専門的な改善提案が提示されているか。</p>	10点
<p>3 見積価格に関する項目（30点）</p>	配点
<p>積算の内訳が、企画提案に見合ったものとなっているか</p>	20点
<p>見積価格の評価</p>	10点